

## 社会生活基本調査からみる

# コロナ禍における生活時間・行動の変化（下）

ぶぎん地域経済研究所 調査事業部主任研究員 加藤 達朗

2021年に行われた総務省「社会生活基本調査」の結果をもとに、これまで2回にわたりコロナ禍における1日の生活時間の配分の変化についてみてきた。最終回となる今号では、余暇時間におけるさまざまなジャンルの活動について、この1年間に行動した人の割合（行動者率）の変化を中心に考察する。

### I 1年間の主な生活行動

埼玉県内に住む10歳以上の男女について、余暇時間に行う活動種類別の行動者率をみると、その推移は図表1左のとおりとなっている。2016年比での増減傾向をみると、全国（図表1右）とほぼ同様にあることがわかる。

「学習・自己啓発・訓練」は、2021年で40.0%と2016年比1.0ポイント増となっており、「商業実務・ビジネス関係」では20.7%と同2.0ポイント増、2011年比では4.1ポイント増と上昇傾向にある。

「スポーツ」の行動者率は、69.3%と2016年比3.3ポイント減となっており、調査対象全23種類のなかで行動者率が最も高い「ウォーキング・軽い体操」は

47.4%と同2.1ポイント増加した。他方、コロナ禍で密を避けられることから、若い世代を巻き込んで注目を集めるゴルフでは、行動者率は6.5%にとどまり、この20年間で約半数の割合に減少している。

「旅行・行楽」は、51.5%と2016年比26.4ポイントの大幅減となっており、国内旅行、海外旅行ともにコロナ禍が大きく影響した状況がうかがえる。

「趣味・娯楽」の行動者率は、88.4%と2016年比0.9ポイント減となっており、在宅時間の増加から、音楽鑑賞やゲームなどは増加も、読書は同7.3ポイント減と低下傾向が続いた。また、映画館がコロナ禍で休業を余儀なくされたことなどをを受け、映画鑑賞は同11.9ポイント減と大きく落ち込んでいる。

図表1 活動種類別の行動者率

	埼玉県 (単位：%、ポイント)						全国 (単位：%、ポイント)		
	2001年 (H13年)	2006年 (H18年)	2011年 (H23年)	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	2016年比 増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	2016年比 増減
学習・自己啓発・訓練	38.1	37.7	36.8	39.0	40.0	1.0	36.9	39.6	2.7
商業実務・ビジネス関係	20.5	17.4	16.6	18.7	20.7	2.0	16.2	20.1	3.9
外国語	11.5	11.2	11.8	14.1	13.6	▲0.5	12.9	14.1	1.2
スポーツ	76.7	69.5	66.9	72.6	69.3	▲3.3	68.8	66.5	▲2.3
ウォーキング・軽い体操	45.5	37.9	37.9	45.3	47.4	2.1	41.3	44.3	3.0
ゴルフ(練習場を含む)	12.3	10.4	9.0	9.1	6.5	▲2.6	7.9	6.9	▲1.0
旅行・行楽	86.9	80.7	76.7	77.9	51.5	▲26.4	73.5	49.5	▲24.0
国内旅行	75.1	68.6	62.5	64.5	34.1	▲30.4	58.0	32.2	▲25.8
海外旅行	12.0	11.4	9.5	8.1	0.3	▲7.8	7.2	0.4	▲6.8
趣味・娯楽	89.3	87.3	87.9	89.3	88.4	▲0.9	87.0	86.3	▲0.7
C D・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	-	56.3	50.6	53.0	56.3	3.3	49.0	53.5	4.5
スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	32.3	35.4	35.1	37.4	44.0	6.6	35.8	42.9	7.1
読書	51.2	45.4	42.3	41.7	34.4	▲7.3	38.7	31.6	▲7.1
映画館での映画鑑賞	39.5	41.1	39.6	44.7	32.8	▲11.9	39.6	29.8	▲9.8

## II 男女別・年齢階級別の行動者率

### (i) 学習・自己啓発・訓練

— 男性は35～44歳、女性は10～14歳で増加目立つ

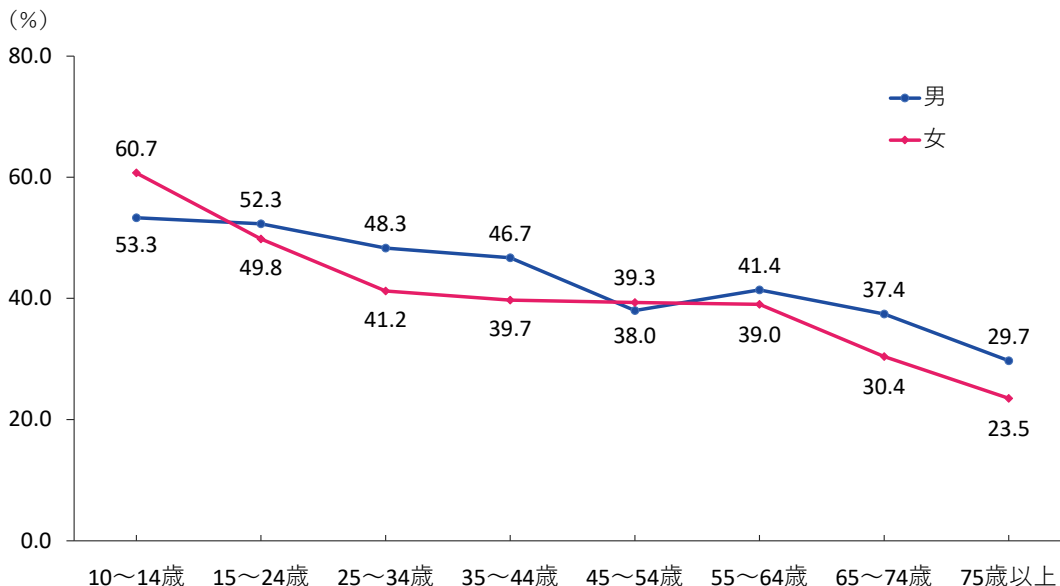
埼玉県内に住む10歳以上の男女について、過去1年間に学習・自己啓発・訓練を行った人の割合は40.0%と、全国(39.6%)を上回り、都道府県別では第6位の高さとなる。2016年との比較では1ポイント増加しており、コロナ禍で在宅時間が増えたことやオンライン化の進展などにより、時間的、経済的に学ぶ機会や環境が整ってきたことが影響して

いると考えられる。

男女別にみると、男性は2016年比1.7ポイント増の42.2%、女性は同0.4ポイント増の37.9%と、男性の行動者率は女性より4.3ポイント高い。年齢階級別では、男女ともに10～14歳が最も高く、男性は53.3%、女性は60.7%となり、その後年齢が上がるにつれて行動者率は緩やかに低下していく。

2016年比の増加幅をみると、男性では35～44歳(6.8ポイント増)が最も大きく、女性は10～14歳(12.7ポイント)が最も大きい。また、男女差は10～14歳で最も大きく、男性が女性よりも7.4ポイント下回っている。(図表2、図表3)

図表2 「学習・自己啓発・訓練」の男女別・年齢階級別行動者率(埼玉県、2021年)



図表3 「学習・自己啓発・訓練」の男女別・年齢階級別行動者率(埼玉県)

(単位: %、ポイント)

	総数			男			女			男女差 (2021年)
	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	
総数	39.0	40.0	1.0	40.5	42.2	1.7	37.5	37.9	0.4	4.3
10～14歳	48.8	56.9	8.1	49.6	53.3	3.7	48.0	60.7	12.7	▲7.4
15～24歳	52.5	51.1	▲1.4	51.1	52.3	1.2	54.0	49.8	▲4.2	2.5
25～34歳	44.5	44.9	0.4	49.1	48.3	▲0.8	39.6	41.2	1.6	7.1
35～44歳	40.5	43.3	2.8	39.9	46.7	6.8	41.1	39.7	▲1.4	7.0
45～54歳	37.1	38.6	1.5	38.2	38.0	▲0.2	36.0	39.3	3.3	▲1.3
55～64歳	36.9	40.2	3.3	40.5	41.4	0.9	33.2	39.0	5.8	2.4
65～74歳	34.7	33.7	▲1.0	33.2	37.4	4.2	36.1	30.4	▲5.7	7.0
75歳以上	24.4	26.2	1.8	28.5	29.7	1.2	21.1	23.5	2.4	6.2
全国	36.9	39.6	2.7	36.5	39.8	3.3	37.4	39.5	2.1	0.3

## (ii) スポーツ

### — 男女ともに 25～34 歳で大幅減

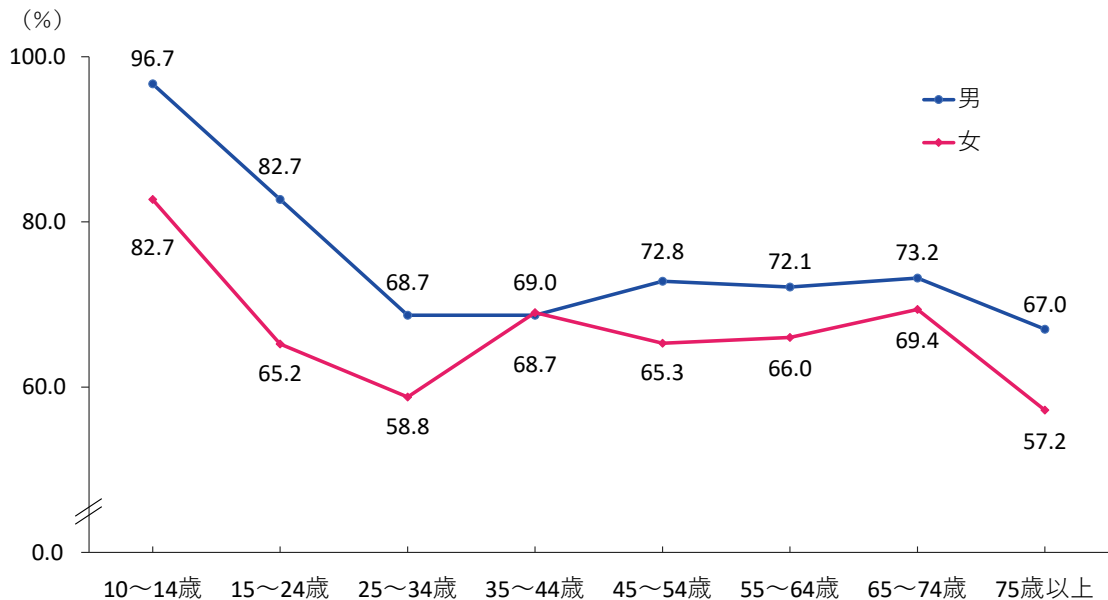
埼玉県内に住む 10 歳以上の男女について、過去 1 年間にスポーツを行った人の割合は 69.3%と、全国 (66.5%) を上回り、都道府県別では第 3 位の高さとなる。2016 年との比較では、コロナ禍での外出自粛などが影響し 3.3 ポイントの減少となっている。

男女別にみると、男性は 2016 年比 3.1 ポイント減の 73.2%、女性は同 3.6 ポイント減の 65.3%と、男性の行動者率は女性より 7.9 ポイント高い。年齢階級別では、男女ともに 10～14 歳が最も高く、男性は

96.7%、女性は 82.7%となり、その後 25～34 歳にかけて男女とも行動者率は大きく落ち込む。2016 年比の減少幅をみると、男女ともに 25～34 歳が最も大きく、男性は 9.1 ポイント減、女性は 10.9 ポイント減となっている。また、男女差は 15～24 歳で最も大きく、男性が女性よりも 17.5 ポイント上回っている。(図表 4、図表 5)

調査対象全 23 種類のなかで行動者率が最も高い「ウォーキング・軽い体操」(47.4%) では、男性 44.2%、女性 50.6%となり、男性が女性よりも 6.4 ポイント下回っている。

図表 4 「スポーツ」の男女別・年齢階級別行動者率 (埼玉県、2021 年)



図表 5 「スポーツ」の男女別・年齢階級別行動者率 (埼玉県)

(単位: %、ポイント)

	総数			男			女			男女差 (2021年)
	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	
総数	72.6	69.3	▲ 3.3	76.3	73.2	▲ 3.1	68.9	65.3	▲ 3.6	7.9
10～14歳	91.0	89.8	▲ 1.2	94.8	96.7	▲ 1.9	86.9	82.7	▲ 4.2	14.0
15～24歳	77.2	74.1	▲ 3.1	80.6	82.7	▲ 2.1	73.5	65.2	▲ 8.3	17.5
25～34歳	73.9	63.9	▲ 10.0	77.8	68.7	▲ 9.1	69.7	58.8	▲ 10.9	9.9
35～44歳	74.7	68.8	▲ 5.9	77.4	68.7	▲ 8.7	71.8	69.0	▲ 2.8	▲ 0.3
45～54歳	69.6	69.2	▲ 0.4	74.6	72.8	▲ 1.8	64.3	65.3	▲ 1.0	7.5
55～64歳	72.8	69.1	▲ 3.7	73.1	72.1	▲ 1.0	72.5	66.0	▲ 6.5	6.1
65～74歳	73.3	71.2	▲ 2.1	75.2	73.2	▲ 2.0	71.7	69.4	▲ 2.3	3.8
75歳以上	58.8	61.5	▲ 2.7	67.3	67.0	▲ 0.3	52.2	57.2	▲ 5.0	9.8
全国	68.8	66.5	▲ 2.3	73.5	69.9	▲ 3.6	64.4	63.3	▲ 1.1	6.6

(iii) 旅行・行楽

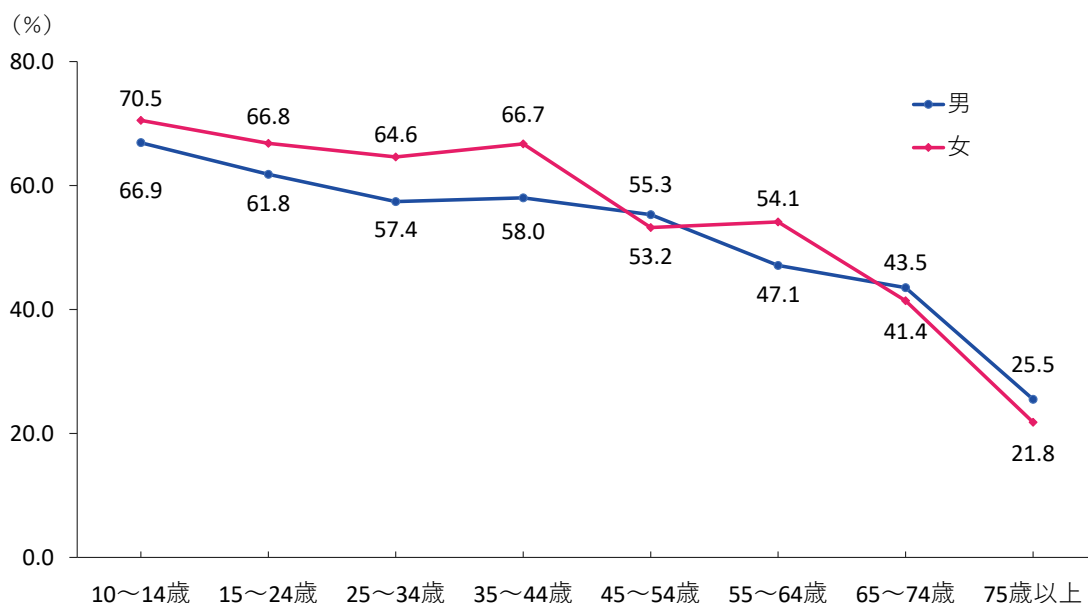
—— 75歳以上で落ち込みが顕著

埼玉県内に住む10歳以上の男女について、過去1年間に旅行・行楽を行った人の割合は51.5%と、全国(49.5%)を上回り、都道府県別では第10位の高さとなる。2016年との比較では、コロナ禍での外出自粛などが大きく影響し26.4ポイントの減少となっている。

男女別にみると、男性は2016年比23.8ポイント減の51.0%、女性は同28.8ポイント減の52.1%と、

男性の行動者率は女性より1.1ポイント低い。年齢階級別では、男女ともに10～14歳が最も高く、男性は66.9%、女性は70.5%となり、その後年齢が上がるにつれて男女とも行動者率は緩やかに低下していく。2016年比の減少幅をみると、男女ともに75歳以上で最も大きく、男性は35.1ポイント減、女性は37.5ポイント減となっている。また、男女差は35～44歳で最も大きく、男性が女性よりも8.7ポイント下回っている。(図表6、図表7)

図表6 「旅行・行楽」の男女別・年齢階級別行動者率(埼玉県、2021年)



図表7 「旅行・行楽」の男女別・年齢階級別行動者率(埼玉県)

(単位: %、ポイント)

	総数			男			女			男女差 (2021年)
	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	
総数	77.9	51.5	▲26.4	74.8	51.0	▲23.8	80.9	52.1	▲28.8	▲1.1
10～14歳	87.9	68.6	▲19.3	90.2	66.9	▲23.3	85.4	70.5	▲14.9	▲3.6
15～24歳	79.3	64.2	▲15.1	75.2	61.8	▲13.4	83.7	66.8	▲16.9	▲5.0
25～34歳	83.8	60.9	▲22.9	75.4	57.4	▲18.0	92.7	64.6	▲28.1	▲7.2
35～44歳	84.4	62.2	▲22.2	81.8	58.0	▲23.8	87.1	66.7	▲20.4	▲8.7
45～54歳	76.1	54.3	▲21.8	71.9	55.3	▲16.6	80.7	53.2	▲27.5	2.1
55～64歳	79.3	50.5	▲28.8	74.6	47.1	▲27.5	83.9	54.1	▲29.8	▲7.0
65～74歳	75.7	42.4	▲33.3	73.5	43.5	▲30.0	77.7	41.4	▲36.3	2.1
75歳以上	59.9	23.4	▲36.5	60.6	25.5	▲35.1	59.3	21.8	▲37.5	3.7
全国	73.5	49.5	▲24.0	71.1	48.9	▲22.2	75.8	50.1	▲25.7	▲1.2

(iv) 趣味・娯楽

—— 75歳以上で男女差が拡大

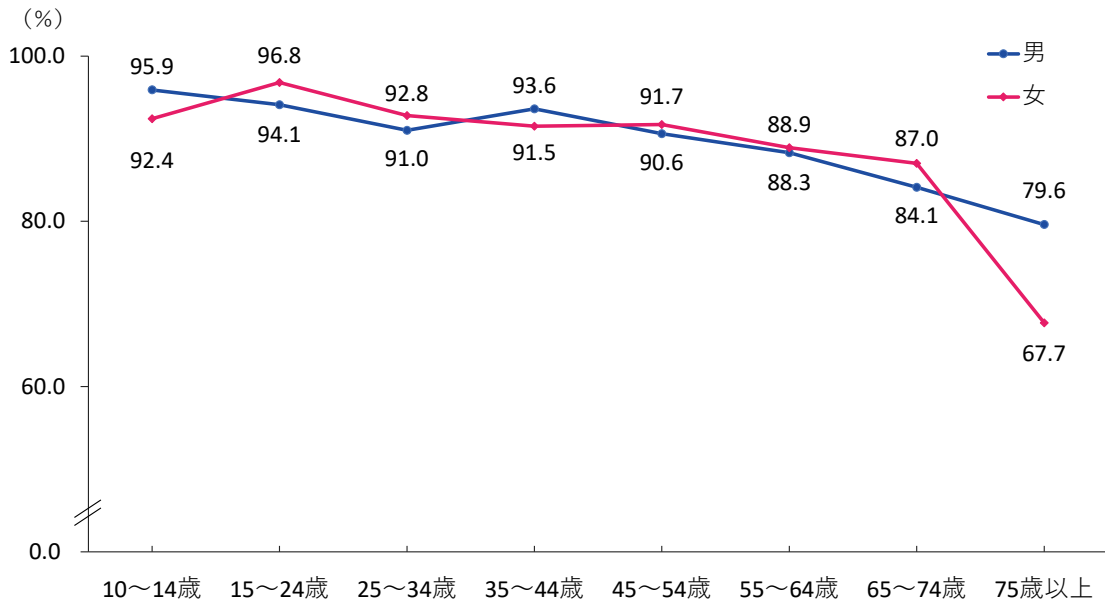
埼玉県内に住む10歳以上の男女について、過去1年間に趣味・娯楽を行った人の割合は88.4%と、全国(86.3%)を上回り、都道府県別では第4位の高さとなる。2016年との比較では、0.9ポイントの減少となっている。

男女別にみると、男性は2016年比0.1ポイント増の89.2%、女性は同1.8ポイント減の87.7%と、男性の行動者率は女性より1.5ポイント高い。年齢階級別では、男性は10～14歳が95.9%で最も高く、

女性は15～24歳が96.8%で最も高い。男女差は75歳以上で最も大きく、男性は2016年比6.5ポイント増の79.6%に対し、女性は同4.8ポイント減の67.7%と、男性が女性よりも11.9ポイント上回っている。(図表8、図表9)

調査対象全35種類のなかで行動者率が最も高い「映画館以外(テレビ・DVD・パソコンなど)での映画鑑賞」は55.6%と、全国(52.7%)を上回り、都道府県別では第4位の高さとなる。男女別では、男性56.2%、女性55.1%となり、男性が女性よりも1.1ポイント上回っている。

図表8 「趣味・娯楽」の男女別・年齢階級別行動者率(埼玉県、2021年)



図表9 「趣味・娯楽」の男女別・年齢階級別行動者率(埼玉県)

(単位: %、ポイント)

	総数			男			女			男女差 (2021年)
	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	2016年 (H28年)	2021年 (R3年)	増減	
総数	89.3	88.4	▲ 0.9	89.1	89.2	0.1	89.5	87.7	▲ 1.8	1.5
10～14歳	98.0	94.2	▲ 3.8	98.3	95.9	▲ 2.4	97.7	92.4	▲ 5.3	3.5
15～24歳	93.0	95.4	▲ 2.4	91.6	94.1	▲ 2.5	94.5	96.8	▲ 2.3	▲ 2.7
25～34歳	94.9	91.9	▲ 3.0	92.6	91.0	▲ 1.6	97.3	92.8	▲ 4.5	▲ 1.8
35～44歳	93.4	92.6	▲ 0.8	94.2	93.6	▲ 0.6	92.5	91.5	▲ 1.0	2.1
45～54歳	91.2	91.1	▲ 0.1	91.2	90.6	▲ 0.6	91.3	91.7	0.4	▲ 1.1
55～64歳	89.7	88.6	▲ 1.1	87.5	88.3	0.8	91.8	88.9	▲ 2.9	▲ 0.6
65～74歳	84.8	85.6	0.8	85.0	84.1	▲ 0.9	84.6	87.0	▲ 2.4	▲ 2.9
75歳以上	72.8	72.9	0.1	73.1	79.6	▲ 6.5	72.5	67.7	▲ 4.8	11.9
全国	87.0	86.3	▲ 0.7	87.2	86.8	▲ 0.4	86.8	85.8	▲ 1.0	1.0

### Ⅲ 埼玉県が行動者率上位の種目

前述のとおり、埼玉県はスポーツ総数の行動者率で都道府県別第3位、趣味・娯楽総数で同第4位の高さにあり、全国的にみると“運動好き”で“趣味・娯楽好き”な県となるのかもしれない。スポーツと趣味・娯楽の各種類別についてさらに深掘りしていく

と、埼玉県が行動者率上位の主な種目は図表10、図表11のとおりとなっている。

「マンガを読む」は、近年スマートフォンで手軽に楽しめるマンガアプリの利用者が幅広い世代で増えていることなどから、2021年調査で読書から分かれ、新たに追加された。「読書」の行動者率（34.4%・図表1）低下の一因となっている。

図表10 埼玉県が行動者率上位のスポーツ（2021年）

	器具を使ったトレーニング (%)	ジョギング・マラソン (%)	サイクリング (%)	サッカー、フットサル (%)
第1位	東京都 15.0	東京都 15.3	東京都 14.4	愛知県 6.0
第2位	神奈川県	埼玉県 12.9	神奈川県 9.8	神奈川県 5.9
第3位	埼玉県 14.4	神奈川県 12.6	京都府 9.7	茨城県 5.7
第4位	大阪府 14.0	千葉県 12.5	埼玉県 9.5	埼玉県 5.6
第5位	福岡県 14.0	沖縄県 11.7	茨城県 9.2	鹿児島県 5.3
	全 国 12.9	全 国 11.1	全 国 8.2	全 国 4.7

図表11 埼玉県が行動者率上位の趣味・娯楽（2021年）

	マンガを読む (%)	写真の撮影・プリント (%)	楽器の演奏 (%)	演芸・演劇・舞踊鑑賞 (%)
第1位	東京都 43.2	東京都 27.2	東京都 14.5	東京都 12.6
第2位	神奈川県 41.2	神奈川県 26.7	神奈川県 12.1	京都府 8.8
第3位	愛知県 40.2	愛知県 23.8	京都府 11.4	大阪府 8.2
第4位	宮城県 38.9	埼玉県 23.6	埼玉県 11.2	神奈川県 7.8
第5位	埼玉県 38.8	京都府 23.5	愛知県 11.2	埼玉県 7.6
	全 国 36.8	全 国 21.9	全 国 10.2	全 国 6.7



2021年に行われた総務省「社会生活基本調査」は、10月16日～24日に実施され、新型コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言を含んだ期間となっており、3密回避の日常化や数度の行動制限により、前回調査となる5年前の2016年に比べ、生活時間・行動にさまざまな影響した結果となった。

同調査は、ワークライフバランスの推進、男女共同参画社会の形成、少子高齢化対策といった行政施策の

ための基礎資料として利用されているほか、スポーツや文化振興、ボランティア活動の推進といった地域振興などにも幅広く利用されており、国民の生活時間や生活行動の実態を把握できる貴重な統計資料として、今後もその数値動向を注視していきたい。